

地域を学ぶ

3年生が平原神社について学びました。

～ゲストティーチャーの高杉さんを招いて～

2月17日（木）、地域に住んでいらっしゃる高杉さんが来られ、平原神社の歴史やお祭りについてお話をしてくださいました。

平原神社には、「高城入比売命（たかしろいりひめのみこと）」という神様が祀られていること、亀山神社の神様と一緒にやってきたこと、「五穀豊穡（ごこくほうじょう）」を願っていること、俵みこしをかついで祭り囃子を奏でながら町をまわってお宮へいくこと、やぶは神様のお使いということ・・・などを、資料を使いながらお話をしてくださいました。

わたしは、昔は「やぶ」と言わず、「おに」と言われていたことにびっくりしました。わたしは「やぶ」のお面は、こわいお面だけでなく、にっこりしているお面もあることを知りました。また、「やぶ」が着ている服はどれも同じだと思っていたので、ちがっていてびっくりしました。



ぼくが、はじめて知ったことは、神様は神社にいどうすることです。そして、昔は平原神社の周りが全て畑だったからすごいなと思いました。またいつか高杉さんに会えたら、つぎは「やぶ」とくちょうとかいろいろなことを知りたいです。11月2・3日の祭りも行ってみたいです。